

## ご参加実績

日産自動車 デンソー 富士通グループ 横河電機 積水化学工業 JR東日本グループ JTB かんぽ生命保険 富国生命 Z会 ライオン	本田技研工業 オリンパス 日立製作所 アサヒビール キュービー 日本通運 東レ 東急電鉄 三菱UFJ信託銀行 東京大学 京成電鉄	マツダ ソニー カシオ計算機 キリン 大塚製薬 N T Tデータ 旭化成グループ デサント 三井不動産 三井住友海上火災保険 電力中央研究所	三菱自動車工業 東芝グループ セイコーエプソン 味の素 日本航空 N T Tコミュニケーションズ 倉敷紡績 IHI Y K K ブリヂストン ディノス・セシール	S U B A R U キヤノングループ N E Cグループ 明治 全日本空輸 四国電力 住友化学 日本放送協会 ジャックス 東京ガス 他 *社名順不同
---	--	--	--	--

## 対象

中堅社員層（職種は問いません。主に主任・係長級を対象とします。30代前半～半ばが目安です。）

## 開催日程

1泊2日(木・金)または(月・火) 宿泊型研修

	日程	会場
第1回	6月22日(月)～23日(火)	富士電機能力開発センター
※オリンピック・パラリンピック開催の影響を考慮し7月・8月開催はございません		
第2回	9月10日(木)～11日(金)	A
		B
第3回	10月22日(木)～23日(金)	A
		B
第4回	11月12日(木)～13日(金)	A
		B
第5回	12月3日(木)～4日(金)	東芝研修センター
第6回	1月21日(木)～22日(金)	富士電機能力開発センター
第7回	2月4日(木)～5日(金)	東芝研修センター

## 会場

富士電機能力開発センター  
〒191-8502  
東京都日野市富士町1番地  
TEL:042-585-6334  
JR中央線「豊田駅」  
徒歩約5分

東芝研修センター  
〒222-0035  
横浜市港北区鳥山町555  
TEL:045-475-8270  
JR東海道線「新横浜駅」  
徒歩約15分

マイステイズ新浦安  
〒297-0014  
千葉県浦安市明海2-1-4  
TEL:047-709-1600  
JR京葉線・武蔵野線「新浦安」駅  
徒歩約13分

# 2020 中堅社員交流研修

変革へのリーダーシップの発揮  
BEAM CONSULTING GROUP



ビーム・コンサルティンググループ株式会社  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22オカダビル  
TEL 03(3354)2721 FAX 03(6273)2272  
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

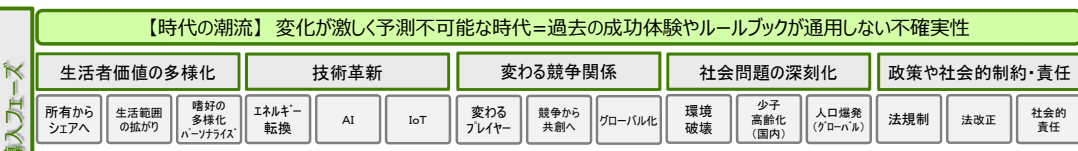
# 研修のねらいと期待する成果

各社を取り巻く事業環境が激しく変わり、過去の成功体験やルールブックが通用しない不確実な時代の中で、その変化に対応するためのスピードと適応力をもった組織運営がまさに今問われています。そのような組織運営を実現するためには従来のような管理職だけにリーダーシップを依拠するのではなく組織全体にリーダー機能を持つ、いわば「リーダーズ」型組織への脱皮が必要です。

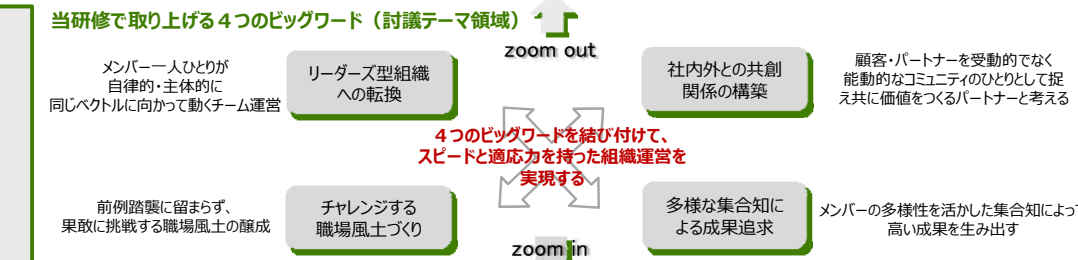
とりわけ現場の第一線に立つ中堅社員の皆さまには、一人ひとりが環境変化に対応するための柔軟な発想や高い視座あるいは自部署における業務のあり方や仕事の進め方などを主体的に変革するためのリーダーシップの発揮が期待されています。そこで、この研修では中堅社員に求められる「**変革へのリーダーシップの発揮**」をテーマに据えて他社（他者）との交流を図ります。業種も職種も異なる他社社員との忌憚りの無い意見交換・情報交換を通じて、自社内では得がたい視点移動や発想転換、これからの仕事のしかた・しくみの刷新、あるいは自らの能力開発のヒントに寄与することを期待しています。

- 変革を担う中堅リーダーとしての役割意識を醸成し、当面の実行課題を明確にする
- 他社の仕事のしかた・仕組みなど具体的な取り組みを知り、そこから自部署の課題解決のヒントを得る
- 視点移動（自社内思考からの脱皮、部門最適から全体最適への思考転換）と視野拡大（環境変化に対して、高いアンテナを張る）
- 自社（自分）の客観視（他社（他者）と比べた自社（自分）の強みや課題を知る）

# 研修フローと討議テーマ

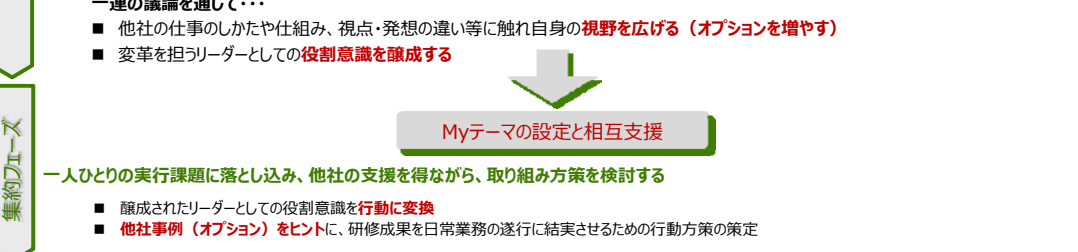


問われる、変化に対応・変化を先取りするための「**スピードと適応力をもった仕事のしかた**」

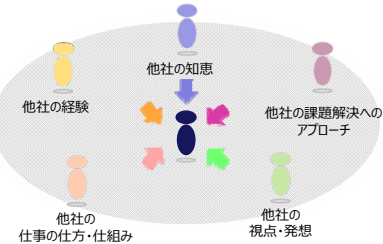


【討議テーマの設定】  
ビッグワードから「中堅リーダーとして取り組む課題」へブレイクダウン

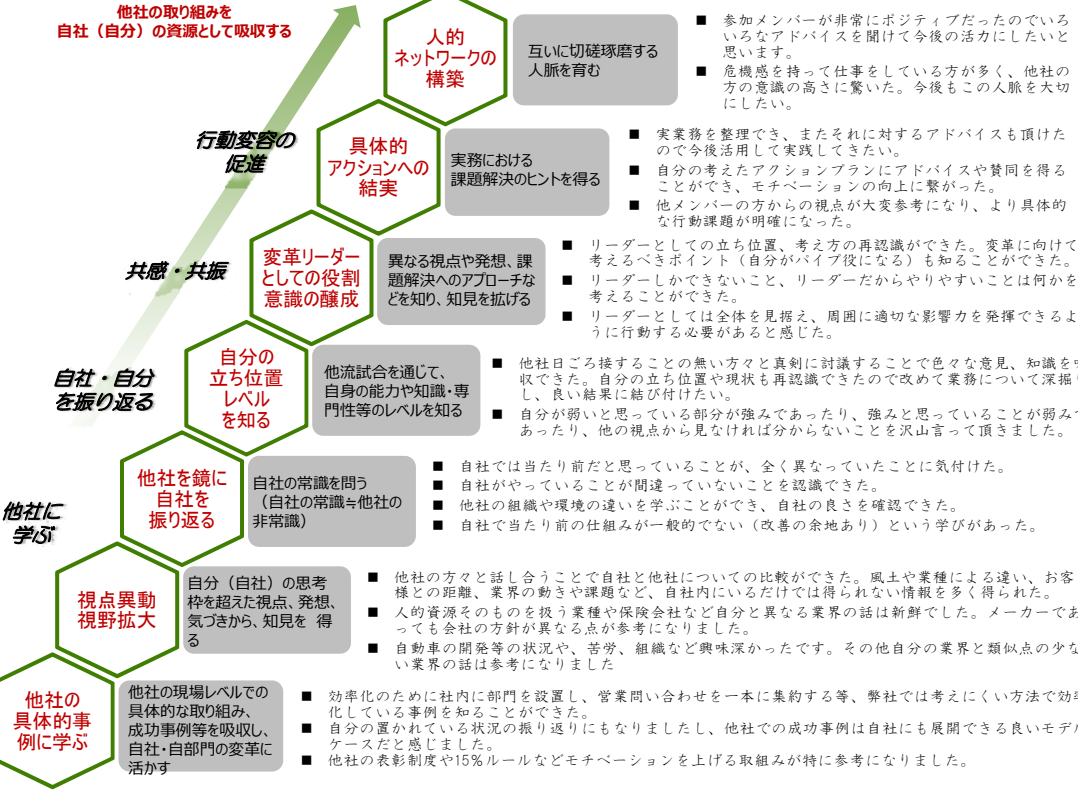
- 中堅リーダーとして取り組む変革課題を抽出し、方案を検討する
- 【知の結合】  
4つの討議テーマ領域で議論する各グループの討議内容を結合させることで効果的な施策にブラッシュアップさせる
- 一連の議論を通じて・・・
- 他社の仕事のしかたや仕組み、視点・発想の違い等に触れ自身の**視野を広げる（オプションを増やす）**
  - 変革を担うリーダーとしての**役割意識を醸成する**



# コンセプトと参加者の声



この研修では、受講者が日常業務に於いて抱える課題意識を研修の討議テーマとして持ち込んで頂き、その課題解決のヒントを他社社員との交流討議を通じて、獲得することを期待しています。  
講師から知識やフレームワークを学ぶのではなく、**受講者が相互に学びあう**、「お互いにテキストになる」研修です。



# タイムテーブル

第1日	9:30	【集合】【オリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明	第2日	8:30	【朝食】【チェックアウト】 グループ討議（続き） 最終発表
	11:00	【導入フェーズ 変革への意識喚起】 《自社（他社）を取り巻く事業環境変化を知る》 事前ワークシートを使った状況共有		9:30	【集約フェーズ 変革へのテーマ実行】 《自身の取り組みテーマを設定する》
	12:00	【昼食】		11:00	《自身の取り組みテーマを設定する》
	12:50	事前ワークシートを使った状況共有（続き）		12:00	【私の実行テーマ（Myテーマ）】設定
	14:15	【展開フェーズ 変革への課題構築】 《変革課題への取組みを模索する》 テーマアップ グループ討議 中間発表		12:50	【私の実行テーマ（Myテーマ）】設定
18:00	【夕食】	13:30	グループ内発表&相互支援		
18:50	グループ討議（続き）	16:45	【クロージング】 《クロージング&アンケート記入》		
20:30	【懇親会】	17:00	【解散】		